

令和2年度シラバス（芸術・美術Ⅰ）

学番7 新潟県立新潟北高等学校

教科（科目）	芸術（美術Ⅰ）	単位数	2	学年	1	学科	普通科		
使用教科書	日本文教出版 「Art and You 創造の世界へ」	副教材等	なし						
学習目標	美術の幅広い創作活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。								
指導の重点	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の実態に見合った自作教材を開発し、基礎的・基本的技能の定着を図る。</li> <li>作品の展示・発表を行い自分および他の生徒を客観的に評価する能力を伸ばす。</li> </ul>								
学 習 計 画									
	単 元 名	学 習 内 容					時数		
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション</li> <li>・色について</li> <li>・デザイン基礎</li> <li>・カレンダー「図と地を生かした色面構成」</li> <li>・鑑賞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間学習計画、授業での約束事、方針、評価について</li> <li>・色の仕組みについて知る。</li> <li>・色相環を作り、混色で様々な色を表現する。</li> <li>・段階を追って平面構成を練習する</li> <li>モノトーンの明度構成、色面の構成をすることで、色彩や、形体に対する感覚を養う。</li> <li>・自分の誕生日のカレンダーのデザインをする。</li> <li>その月のイメージの色の組み合わせを考え、大中小の色面を作る。</li> <li>色面の面積をすべて使い、図と地のバランスを考えた構成をする。</li> <li>カレンダーを加える位置も考慮する。</li> <li>・3年生の行事のポスターを選び、感想を書く。</li> <li>作者の心情や意図と表現の工夫を感じ取り、理解を深める。</li> </ul>					1 2 6  12  1		
		2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木彫「ジャガイモ」</li> <li>・</li> <li>・絵画「教室の片すみ」</li> <li>・鑑賞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本物のジャガイモを観察してデッサンをする。</li> <li>小刀やのこぎりの正しく安全な使い方を理解し、モデルを多面的にとらえながら木を彫る。</li> <li>内側からのふくらみを意識して細部を彫り、仕上げる。</li> <li>彩色、塗装をする。</li> <li>・教室の角を見て奥行きのある風景を描く。</li> <li>空間をしっかりと把握し、構図を考える。</li> <li>・文化祭出展作品を見て、気に入ったものを選び、作者名、題名、選んだ理由を書く。</li> <li>作者の心情や意図と表現の工夫を感じ取り、理解を深める。</li> </ul>					16  11  1
				3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・版画「花」</li> <li>・1年間のまとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書に掲載されている作品を模写する。</li> <li>・自分の好きな花を描く。</li> <li>・版画版使って制作する。</li> <li>・1年を思い返し、他の人の作品についてや自分の感覚に合った表現方法や作品についての考えをまとめる。</li> </ul>			
評価規準	美術への関心・意欲・態度 美術の創造学習の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	発想や構想の能力 感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な技能 創造的な美術の表現をするために、必要な技術を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。			鑑賞の能力 美術作品の表現の工夫や美術文化を理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。			
評価方法	<p>具体的に次のようなものを対象にして、総合的に評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動への参加の状況（取り組みの姿勢や態度、準備、後片付け）</li> <li>・制作の初めや途中のスケッチ、試作品と完成作品</li> <li>・プリントや感想分などの提出物</li> </ul>								
担当者から一言	中学校美術の学習を踏まえて、基礎的・基本的事項がしっかり学習できるようにします。								